

## 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門

コンクリートは、セメント、水、細骨材（砂）、粗骨材（砂利）、混和材料（混和材、混和剤）から構成され、固まったコンクリート構造物は、社会資本の形成を担う主要な構成要素となっています。戦後から相次いだ建設ブームにより、建築ストックは膨大な量となっています。持続可能な発展を目指すためには、これらストックをスクラップすることなく活用していかなければなりません。特に、高度成長期に多量に建設されたコンクリート構造物が補修・補強、解体の時期を迎えるにあたり、コンクリート構造物の迅速で精度の良い調査・診断技術が求められています。

従来の鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験特別研究委員会は、平成元年(1988)4月の設置以来、コンクリート構造物、とりわけ鉄筋コンクリート構造物を中心に、非破壊検査のための試験方法に関する情報交換及び調査研究を目的に活動してきました。この活動を引き継ぎ、本部門では、年間3回の講演会の開催、外部組織との共同研究、NDIS規格の原案作成協力、シンポジウムの開催などを行う予定です。

### 【キーワード】

コンクリート構造物、非破壊試験、非破壊検査、強度推定、強度試験、鉄筋探査、欠陥探査、品質評価